

指導用ルーブリックに基づく授業づくりのポイント ～エビデンスに基づくグッドプラクティスの紹介～

エビデンスに基づく授業改善の取組の一貫として、埼玉県学力・学習状況調査の結果及び指導用ルーブリックを活用して、児童生徒の学力を特に伸ばしている教師（36名）へのインタビューを行った。そして、インタビュー内容を基に、効果的な指導方法（グッドプラクティス）等についてまとめた。

子供の学力を特に伸ばしている教師への3つの質問内容

- ① 指導用ルーブリックで重視する項目について。
- ② 授業づくりについて、普段意識していることは何か。
- ③ 学級経営（学級づくり）について、普段意識していることは何か。

1 指導用ルーブリックで重視する項目（割合）※1人が2つ選択

視 点	1 目指すべき目標・評価規準の設定等	2 主に主体的な学びの視点	3 主に対話的な学びの視点	4 主に深い学びの視点	5 学びの評価・振り返り
回答者の割合	69%	44%	31%	17%	39%

指導用ルーブリックで重視する項目については、「**視点1 目指すべき目標・評価規準の設定等**」の回答が69%と最も高く、子供の学力を特に伸ばしている教師の約7割が回答した。このことから、ルーブリックの5つの視点の中でも、授業前に**本時の適切な目標**や**評価規準を設定**することや、**学習意欲を高められるような導入場面**を設定することは特に効果的であることがわかる。

2 授業づくりにおける留意点

ポイント① 「目標（教師のねらい）」に対応した「評価規準」の設定

○**本時の目標 3 Step** ～指導用ルーブリック（視点1 目指すべき目標・評価規準の設定等）に関わって～

- ① 学習指導要領（各教科解説編）、教科書（及び指導書）、年間指導計画等の資料を確認する。
※『どのような活動（★1）を通して、どのような資質・能力（★2）を育む』ことを目指すのか。
- ② 子供たちにどのような変容を期待するのか、授業後の**具体的な子供の姿**をイメージする。
(例 ～のように書くことができる、～をつかい～と説明ができる、～することができる…等)
- ③ **目標の達成につながる問い**にする。
(例 【○…なぜ～なのか、その理由を説明しよう。】 【×…～を考えよう。】)

○**本時の評価 3 Step** ～指導用ルーブリック（視点5 学びの評価・振り返り）に関わって～

- ① 目標の観点と**同じ観点**で、評価規準を設定する。(観点は多くても2つまで)
- ② 評価する**場面（どこで）**・**評価方法（どうやって）**を指導案に明記する。
- ③ 評価規準に達していない子供への**支援も具体的に記述**する。

例：中1 数学科 題材名「平面図形」

【本時の目標】

基本の作図を利用して、いろいろな角の作図方法を考え、説明することができる。

(数学的な見方や考え方)

【本時の評価規準】

- …75°の作図方法を考える際に、垂直二等分線や角の二等分線の作図方法を利用し作図方法を考え説明している。
(数学的な見方や考え方)
- ×…基本の作図を利用して、75°の作図方法を作図することができる。
(技能)

この観点が**一致**するように設定する